

# 経営・経済動向調査

2016年10月～12月期実績と2017年1月～3月期及び2017年4月～6月期予想

< 調査時期：2017年1月 >

〔BSI値について〕

BSIとは、Business Survey Indexの略で、BSI値は景気全般の見通しについて、強気、弱気度合を示す。プラスならば「強気」「楽観」を、マイナスならば「弱気」「悲観」を意味する。

算出方法

上昇と回答した企業の割合 - 下降と回答した企業の割合

B.S.I =

2

## 【調査の概要】

本調査は、地域の中小企業を取り巻く経済環境が深刻な状況を呈している中、亀岡市域における業界景気・経営経済動向と景気動向を把握し、企業の再生・活性化を促進するとともに、今後の景気対策を図ることに寄与するため実施している。

調査は、4半期毎に、年4回実

| 〔 回 答 状 況 〕 |     |       |         |              |
|-------------|-----|-------|---------|--------------|
|             | 調査数 | 回答企業数 | 回答率 (%) | 回答企業の構成比 (%) |
| 総計          | 450 | 211   | 46.9    | 100.0        |
| 商業          | 152 | 75    | 49.3    | 35.5         |
| 食品          | 53  | 24    | 45.3    | 11.4         |
| 小売商業        | 65  | 37    | 56.9    | 17.5         |
| 一般商業        | 34  | 14    | 41.2    | 6.6          |
| 工業          | 131 | 59    | 45.0    | 28.0         |
| 機械金属電子工業    | 39  | 18    | 46.2    | 8.5          |
| 建設工業        | 61  | 26    | 42.6    | 12.4         |
| 一般工業        | 31  | 15    | 48.4    | 7.1          |
| 観光          | 167 | 77    | 46.1    | 36.5         |
| 理財金融        | 31  | 12    | 38.7    | 5.7          |
| 交通運輸        | 32  | 13    | 40.6    | 6.2          |
| 観光サービス      | 40  | 19    | 47.5    | 9.0          |
| 生活衛生        | 29  | 14    | 48.3    | 6.6          |
| 情報サービス      | 35  | 19    | 54.3    | 9.0          |

【調査の概要】  
 実施し、小規模企業振興委員の活動として事業所へ配布・回収を行っている。アンケートは所定の項目について回答頂き、集計分析を行い景気動向等の把握をするもので、当所会員事業所を対象に450社に調査を依頼し、今回、平成28年度第3四半期（平成28年10月～12月）の調査結果をまとめた。尚、業種別回答状況は、右表の通りである。

## 【概況】

亀岡市域における業界全体の景気について、2016年10月～12月のB・S・I値は▲14.8ポイント（前期比7.0）と大幅に上向きの結果となった。今後は、1月～3月期が▲17.2ポイント、4月～6月期には▲15.9ポイントと下向いたのち、上向く見通し。

業種別で見ると、商業関係が前期比2.7ポイント、工業関係が前期比7.2ポイント、観光サービス関係が前期比9.3ポイントと全業種共に大幅に上向きの結果となった。

今回の調査における経営上の問題点としては、1位『売上不振』、2位『求人難』、3位『価格安』となり前回に比べ2位以下は変化が見られるものの1位については変化のない結果となった。以下、人件費高騰、受注不振が問題点として続いた。

その他、主な意見として、

### 〔商業関係〕

- 消費喚起のための対策を行ってほしい。
- 京ブランド及び丹波ブランドをより一層確立させ、首都圏進出を図る必要がある。
- 亀岡市の人口減少、少子化問題等により商品が売れない。
- 設備投資に関する補助金の情報がほしい。

### 〔工業・建設関係〕

- 適正価格での契約が困難になっている。
- 地産地消、京都府産という行政指導が足かせになっている様に感じる。

### 〔観光サービス・理財金融関係〕

- 亀岡駅周辺の活性化を図る必要があると感じる。
- 人材不足である。
- 消費税増税や最低賃金上昇による影響が、非常に大きい。
- 若者減少、特に京都学園大学移

転による影響が大きいと感じる。  
○組織として何か行動に移すべきだと感じる。

○売上不振により圧迫されている。何か対策があれば教えてもらいたい。

○景気対策といっても、中間層の経済は上昇しない。

○年中集客能力の高い施設を建てる必要がある。

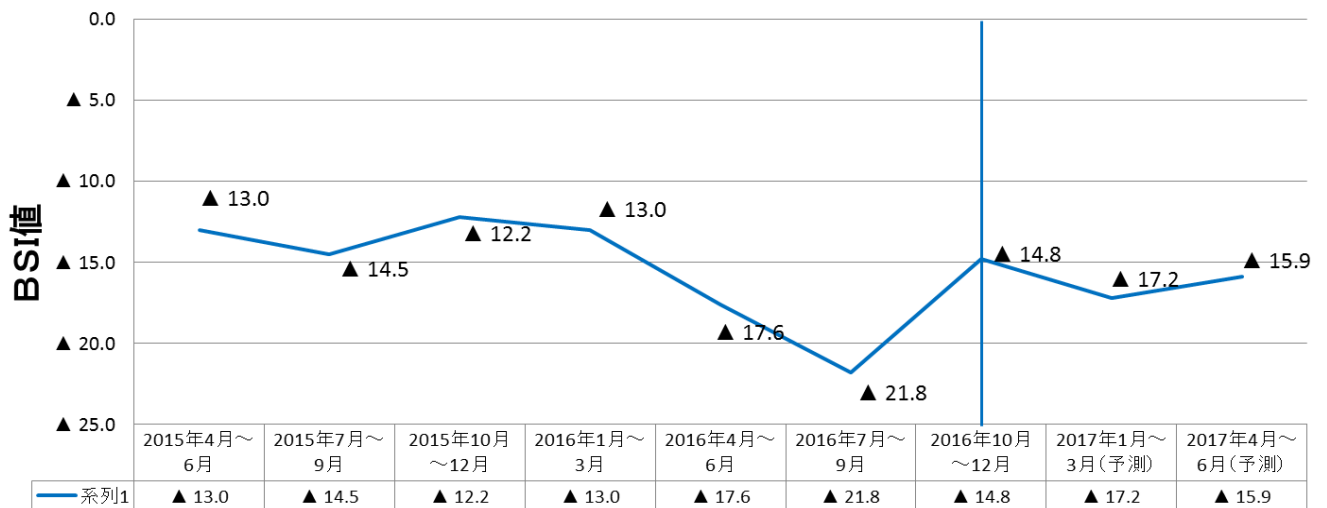
○トランプ政権の影響力が大きいと感じる

(調査結果推移(一部抜粋)は以下の通り)



## 亀岡の経営・経済動向の推移

### I. 亀岡市での貴社の業界全体景気(BSI値)



〔コメント〕2016年10月～12月のB・S・I値は▲14.8ポイント(前期比7.0)と大幅に上向きの結果となった。今後は、1月～3月期が▲17.2ポイント、4月～6月期には▲15.9ポイントと少し下向いたのち、上向く見通し。

【業種別】商業関係が前期比2.7ポイント、工業関係が前期比7.2ポイント、観光サービス関係が前期比9.3ポイントと全業種共に大幅に上向く傾向にある。